

2022 年 5 月 21 日

1. 原稿の書式

- 1) 原稿は、本学会が定める電子投稿システムを使用して投稿する。
- 2) 日本看護管理学会論文投稿ページから下記よりひな型ファイル（論文投稿書式・論文原稿本文）をダウンロードし原稿を作成する。
- 3) 原稿は、本文及び図表を含めすべて電子データ形式とし、論文の種別を記載する。
- 4) 和文は MS 明朝、英文は Times New Roman とする。

2. 原稿の規定枚数

原稿は、本文及び図表、文献を含め、16,000 字以内とする。半角英数字は 2 字を文字数制限における 1 字に換算する。図表はその大きさによって、1/4 ページで 500 字、1/2 ページで 1,000 字、1 ページで 2,000 字と換算する。

3. 原稿の構成

- 1) 表題、著者名、所属機関は、日本語と英語で表記する。
- 2) 500 字から 600 字の和文要約ならびに 200 語から 250 語の英文要約を付し、さらにそれぞれ 5 語前後のキーワードを付す。
- 3) 本文は、緒言、目的、方法、倫理的配慮、結果、考察、結論（実践報告については実践の背景、目的、内容と結果、考察、今後への示唆）などがわかるように記載する。
- 4) 倫理的配慮について明記する。著者のうちいずれかが所属する施設又は学会等の研究倫理委員会の承認を受けていることを原則とする。この場合、承認番号を明記する。ただし、「実践報告」については、「倫理的配慮」の項に、必要な倫理的配慮の内容と、所属機関を代表する部署または職（病院幹部会、看護部、看護部長など）の承認・許可を得たことを明記することで、倫理委員会の承認に代えることができる。

4. 原稿の文体と見出し

- 1) 原稿は日本語とし、句読点（全角とする）は「,」「.」で統一する。
- 2) 見出し番号は、I, II..., 1, 2..., 1), 2) ..., (1), (2) ..., の順とする。文中及び図表中の数字は算用数字（アラビア数字）を用いる。
- 3) 文章は、新仮名づかいを用い、句読点、括弧などは全角とする。外国語は活字体を使用し、アルファベットは半角とする。
- 4) 人名・地名などは、原則として言語を用いる。外国語はカタカナを用いる。太字やイタリック体などの特殊字体を用いる場合は、判別可能なように表記する。

5. 図表

- 1) 図表は、そのまま印刷に用いることができるように明瞭なものとし、図表番号と図表タイトルを明記する。なお、印刷・製版に不適當な図表は書き換え、削除を求めることがある。
- 2) 図、表および写真は、図 1、表 1、写真 1 など通し番号をつける。
- 3) 図表はオンライン投稿時にファイルをアップロードする（投稿時の図表のアップロード形式は指定していない）。1 ページに複数の図表が入っても構わない。
- 4) 表は原則として横罫線のみで表示し、縦罫線は表示しない。縦罫線の代わりに十分な空白を置く。
- 5) 数字は正、負の数に関わらず、同列内の小数点の位置、小数点以下の桁数（有効数字に応じて）揃える。
- 6) 表中の数字が理論的に必ず 1 いかになる場合（相關件数など）は、0 をつけずに「.52」のように小数点以下のみで記載する。

6. 文献

1) 本文中の文献記載方法

①文中に記載する場合は、著者名（姓）の後に発行年次を括弧表示する。文末に記載する場合は、著者名（姓）と発行年次を括弧表示する。著者 2 名までは全員記載し、3 名以上は筆頭著者名のみを記載し「…ら」、外国文献では「…et al.」と記載する。単行本・翻訳書から引用した場合は、引用したページを記載する。複数ページにまたがって引用した場合は、「pp. ○ー○」とする。

【例】

文中：佐藤（2006）、田尾、久保（1996）は……（p. 12）。、加藤ら（2002b）、Duffield（2001）、Hall and Donner（1997）、Lucero et al.（2010）

文末：（佐藤，2006）、（田尾，久保，1996，p. 12）、（加藤ら，2002b）、（Duffield，2001）、（Hall & Donner，1997）、（Lucero et al.，2010）

引用：（田尾，久保，1996，p. 12）、（田尾，久保，1996，pp. 25-26）

②複数論文については、同著者の場合は発行年順に列記しコンマ（,）で区切る。異なる著者の場合は、筆頭著者（姓）のアルファベット順に列記し、セミコロン（;）で区切る。

【例】同著者：（佐藤，2003，2005，2006）、異なる著者：（佐藤，2006；鈴木，2005）

③翻訳書の場合は、原著者のみ表記する。

2) 文献リスト欄の記載方法

①文献リストは、著者名（姓）のアルファベット順に列記する。ただし、同著者の文献は、発行年順に記載する。著者名、編者名は 5 名までは全員を記載、6 名以上の場合

は最初の 5 名を記載し、日本語文献では「…，他」，外国文献では「…，et al.」とする。同じ著者の同じ発行年の文献が複数ある場合は，発行日の古い順に年の後ろに a, b, c… と付けて並べる。

②文献リストの記載方法は，以下の通りとする。

i. 雑誌の場合

著者名(発行年)．表題．雑誌名，巻(号)，ページ．巻ごとに通しページになっている場合は，号は記載しなくてもよい。

【例】佐々木美奈子，菅田勝也(2011)．インシデントから学ぶ組織学習を支える態度・行動測定尺度の開発．日本看護管理学会誌，15，29-38.

Lucero, R.J., Lake, E.T., & Aiken, L.H. (2010). Nursing care quality and adverse events in US hospitals. *Journal of Clinical Nursing*, 19, 2185-2195.

ii. 単行本の場合

著者名(発行年)．書名(版数(初版は省略可))．発行地：出版社。

著者名(発行年)．章題．編者名(編/Ed./Eds.)，書名(版数(初版は省略可))(章ページ)．発行地：出版社。

【例】田尾雅夫，久保真人(1996)．バーンアウトの理論と実際—心理学的アプローチ．東京：誠信書房。

Hammond, K. R., & Adelman, L. (1986). Science, values, and human judgment. In H. R. Arkes & K. R. Hammond (Eds.), *Judgement and decision making: An interdisciplinary reader* (2nd ed.) (pp. 127-143). Cambridge, England: Cambridge University.

iii. 翻訳書の場合

原著者名(発行年)／翻訳者名(翻訳書の発行年)．翻訳書名(版数(初版は省略可))．発行地：出版社。

原著者名(発行年)／翻訳者名(翻訳書の発行年)．章題．編者名(Ed./Eds.)，翻訳書名(版数(初版は省略可))(章ページ)．発行地：出版社。

【例】Fagin, C. M. (2000)／竹花富子(2002)．フェイガン リーダーシップ論．東京：日本看護協会出版会。

iv. WEB ページの場合

掲載者(掲載年(不明の場合は n. d.))．Web ページのタイトル．(アクセスした日付，URL)ただし，WEB 掲載のデータは削除される可能性があるので，引用は極力避け，やむを得ず引用する場合は必ずコピーを保管すること。

【例】厚生労働省(2013)．チーム医療の推進について(チーム医療の推進に関する検討会 報告書)．(2014 年 5 月 3 日，<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/03/dl/s0319-9a.pdf>)

7. 著者貢献度

- 1) 著者貢献度 (Author Contributions) について、著者の論文への貢献度を下記の例のように記載する。

[例]

著者貢献度

すべての著者は、研究の構想およびデザイン、データ収集・分析および解釈に寄与し、論文の作成に関与し、最終原稿を確認した。

- 2) 著者資格に当てはまらない貢献者は、謝辞に記載する。

8. 謝辞

当該研究の遂行に関して受けた研究助成がある場合、また、著者以外で当該研究の遂行や論文作成に貢献した者（以下、貢献者）がいる場合は、「謝辞」の欄に 各貢献者の貢献内容を記して謝意を述べる。謝辞に記載する者の例として、純粋な技術的支援を提供したもの、執筆の補助、または部門の責任者等が含まれる。

9. 利益相反

- 1) 著者全員について、投稿時から遡って過去1年以内での発表内容に関する企業・組織または団体とのCOI状態を「学会誌で発表を行う著者の利益相反 (COI) 申告書」に記載する。
- 2) 当該研究の遂行や論文作成において、利益相反となるような経済的支援を受けた場合には、その旨を記載する。利益相反状態が存在しない場合には、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

*利益相反：外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれているのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態「厚生労働科学研究における利益相反 (Conflict of Interest: COI) の管理に関する指針」（平成20年3月31日科発0331001号）

10. 原稿作成時の注意事項

- 1) 著者名や所属機関名、受審した倫理審査委員会名・承認番号、謝辞、著者資格は投稿時にアップロードする本文原稿中には記載せず、電子投稿システム画面上に入力する。
- 2) 自著を引用する場合は、「著者」「筆者」との文言を用いず、自身の固有名詞を明記し、文献リストにも明記する。
- 3) 抄録には原則として、目的・方法・結果・結論の項目をつけ、それぞれにつき簡潔に述べる。
- 4) 英文抄録は和文抄録の内容と一致しており、native checkを受ける必要がある。
- 5) 改訂稿の場合、査読者からの指摘に基づいて修正した箇所にアンダーラインをひく。